

令和3年3月26日

庄内町長 原 田 眞 樹 殿

庄内町振興審議会  
会長 斉 藤 徹 史

## 答 申 書

令和3年3月2日付け諮問第7号で諮問された庄内町まち・ひと・しごと創生事業の効果の検証について、庄内町振興審議会条例施行規則第2条の規定に基づき下記のとおり答申します。

### 記

1 審議会開催状況

令和3年 3月 24日 (水) 第3回振興審議会全体会

2 審議した事項

庄内町まち・ひと・しごと創生事業の効果の検証について

3 委員名簿

梅木 均、高橋義夫、大滝正博、加藤修一、海藤喜久男、渡會 正、吉田勝紀、田澤富雄、斉藤徹史、佐藤道子、石井範子、加藤 容、佐藤あゆ子、長南久良、佐藤正義

4 事務局

佐藤博文、阿部 聡、岡本由美

5 審議の結果

「庄内町まち・ひと・しごと創生事業の効果の検証について」を審議検討した結果は、別紙のとおりです。

第2期庄内町まち・ひと・しごと創生事業

- (1) 第2期庄内町まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画に掲げる事業の内容や手法の見直しを行い、地方創生の目標達成に向けて、さらに各課横断的に戦略的かつ効果的に取り組むこと。
- (2) 今後の取り組みにあっても、PDCAを確実に実行し事業展開すること。この場合においてコロナ禍でも実施できたであろうもの、代替えで対応できたであろうものが無かったかなども検証すること。
- (3) 農産物交流施設やクラッセで販売する地場産品や、既存の宿泊施設、文化施設等を組み合わせた新たな観光メニューを開発するにあたり、先進地事例も参考とし、多様化する利用者ニーズに対応できるよう、各課からの情報を収集・調整する観光プロジェクトチームを立ち上げるなど、戦略的かつ効果的な行動を起こすこと。また、Youtube や SNS 等を活用し町の魅力発信を行うことで誘客拡大を図ること。
- (4) コロナ禍の影響により、地方移住への関心が高まっている。この機を逃さずチャンスと捉え、母体となるプロジェクトチームを立ち上げ、町民や若者の意見も広く取り入れながら、新しい視点からできることを模索し、日常ツールとなったオンラインミーティングや SNS 等を活用した地域の魅力発信と交流人口の拡大を図り、新たなビジネスや雇用の創出と移住定住の促進に取り組むこと。
- (5) 空き家・空き店舗の有効活用については引き続き努めること。ただし、まったく使用に耐えられない崩れている危険な空き家・空き店舗については、周辺住民への影響も大きく景観も損ねているため、所有者等に空き家の適正管理と対応策について促し、良好な方向に行くように努めてもらいたい。
- (6) 町民の健康増進推進事業の中にある多機能型交流拠点の拡充を推進するために、多くの方が気軽に参加出来るよう、複数の拠点整備を検討すること。